

追加及ビ附録

○能代、男鹿島、鯨ヶ澤地震 今村理學博士ノ調査ニヨルニ大日本地震史料ニ
漏レタル左ノ三破壞的地震アリ。

寶永元年四月二十四日（西曆一七〇四年五月二十七日）能代地震強ク、死者五十八人、燒失住家七百五十九軒、土藏六十一棟、寺院七棟、崩潰セル住家四百三十五軒、土藏五十五棟、寺院四棟ニ及ベリ、弘前ニテモ潰家アリ。
寛政四年十二月二十八日（西曆一七九三年二月八日）陸奥鯨ヶ澤大地震アリ、小津浪ヲ伴ヘリ。
文化七年八月二十七日（西曆一八一〇年九月二十五日）男鹿島地方地震強ク、南秋田郡ニ死者五十九人、潰家千七十八棟、山本郡ニ潰家五十一棟ヲ算セリ。

○有馬鳴動

明治三十二年ヨリ三十三年ニ亘リテ兵庫縣有馬溫泉附近ニ鳴動ヲ發生シ一時ハ人心恟々タリキ、其ノ始リハ明治三十二年七月五日ニシテ同月下旬ヨリ翌八月上旬ニ及ビテ鳴動ノ回數非常ニ夥シク、其最盛ノトキハ一日ニ二百回ニモ達シタリ、爾後其ノ數ヲ減少セルガ、翌年中モ全ク跡ヲ絶ツニ至ラザリキ、鳴動ノ原動點ハ有馬町ヨリ約半里南方ノ六甲山中ニアリテ、鳴動ハ多クハ遠方ニテ大砲ヲ發射セルカ或ハ重キ石ヲ地上ニ落下セルガ如キ音ニシテ頗ル甚シキコトアリ、音響ヲ聞キタル後半秒乃至一秒ノ時間ヲ經テ地響キアリ、通常ハ微ナレドモ、稀ニハ地動強クシテ屋根瓦ノ墜落、山腹ヨリ岩塊ノ轉下等アリタリ。有馬鳴動ハ火山トハ全ク無關係ナル花崗岩地方特有ノ現象ナリ。

○有馬溫泉溫度ノ變化

明治三十二年ノ鳴動後、有馬溫泉ハ次第ニ其溫度ヲ高メテ同三十三年七月末ニハ攝氏四十七・七度トナリ、大正五年十一月ノ神

戸地方地震前ニハ五十二・三度ニ達シタリ、同地震ノ際更ニ溫度ヲ高メ五十三・四度トナリシガ（第五六頁參照）、大正八年三月三十一日ノ實測ニヨルニ五〇・〇度トナリテ三度餘ノ溫度降下ヲ示シタリ。

○箱根山ノ鳴動

箱根山ハ死火山ト見做スベキモノニシテ噴火爆發スルノ恐レ無キモ、地震鳴動ヲ夥シク發生スルコトアリ、但シ火山性地震ノ原則トシテ小弱ナルモノ、ミニ止マリ大破壊的變動トナルコト無カルベキナリ。箱根山ニテハ大正六年一月十七日ヨリ既ニ數回ノ微震ヲ發シタルガ同月三十日午後六時頃ヨリ震動ハ次第ニ其數ヲ増シ、同九時ヨリ翌三十一日午前二時頃迄ハ最モ頻繁トナリ、同午前六時迄ノ十二時間ニ合計二百四十二回以上ヲ算シタルモ、輕微ナル道路ノ裂罅ヲ生ゼルニ止マリ格別震害ヲ與フルニ至ラズシテ、爾後多少増減ヲ示シツ、次第ニ震動ヲ減ジタリ。

天明六年二月ノ箱根山鳴動ト同一現象ナルベシ。（第一七頁參照）

○信濃國飯山地方ノ地震

大正八年三月二十三日ヨリ二十五日ニ亘リ信濃國下水内郡飯山ニテ八回ノ強震ヲ感ジタルガ震害ハ無カリキ。同月二十九日午前七時四十分附近ノ下高井郡野澤溫泉地方ニ強震アリ、溫泉湧出口ノ閉止セルモノアリ、石垣ノ崩壞、天井ノ墜落等小損害アリタリ。此等ノ地震ハ大正七年十一月十一日ノ大町激震（第六一頁參照）ト共ニ弘化四年善光寺大地震ノ激震區域ノ周圍附近ニ發生シタル附從的小規模ノ現象ニ外ナラザルベシ。